

## 検査を受けて抗体の値が低いとわかったら

### **無料で予防接種を受けられます！**

あなたとあなたのまわりの人を風しんから守るため

### **必ず予防接種を受けましょう！**

この説明文書を読み、「風しんの第5期の定期接種予診票」に記入のうえ、医師の診察を受けてください。

対象者：昭和37年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性で、抗体検査の結果、予防接種が必要と判断された人

接種期間：令和4年4月1日から令和5年2月28日まで

#### 予防接種に必要な持ち物

- 風しん予防接種のクーポン券  風しんの抗体検査結果票  住所地のわかる本人確認書類

#### (1) 病気の説明

風しんは、感染者の飛沫（唾液のしぶき）などによって周囲の人にうつる感染力の強い感染症です。妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、生まれた子どもが先天性風しん症候群（目や耳、心臓に障害が起きること）になる可能性があります。おとなになって風しんに感染すると、無症状・軽症のことが多いですが、まれに重い合併症を引き起こすことがあります。一方、自分は無症状でも他人にうつすことがありますので、感染を拡大しないためには、できるだけ多くの方が予防接種を受けて免疫を持つことが重要です。

#### (2) 麻しん風しん混合（MR）ワクチンについて

風しんの第5期の予防接種で使用する麻しん風しん混合（MR）ワクチンは、麻しんウイルス及び風しんウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。接種するとウイルスが体内で増えますが、周囲の人に感染することはありません。麻しん風しん混合（MR）ワクチンを接種することによって、95%の人が風しんウイルスに対する免疫を獲得することができると言われています。

#### (3) 予防接種の副反応について

麻しん風しん混合（MR）ワクチンの主な副反応は、発熱と発疹です。他の副反応として、注射部位の発赤・はれ、しこりなどの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれんなどが見られます。ごくまれに、脳炎・脳症の報告があります。

#### (4) 予防接種を受けることが適当でない人、接種前に医師とよく相談しなければならない人

発熱している人や基礎疾患のある人、過去の予防接種でアレルギー症状を疑う症状のあった人、この予防接種の成分でアレルギー症状を起こす恐れのある人などは事前に医師と相談しましょう。

#### (5) ワクチン接種後の注意

- ① 接種後30分は医療機関で様子を見るか、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- ② 接種後に高熱やけいれんなどの異常がでた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③ 接種後4週間は体調に注意しましょう。はれが目立つときや、具合が悪くなったときなどは医師にご相談ください。
- ④ 当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- ⑤ 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒はさけましょう。
- ⑥ 接種後27日間は、他の予防接種は受けられません。

#### (6) 予防接種健康被害救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には予防接種法に基づく給付を受けることができます。

万が一、定期の予防接種による健康被害が発生した場合には、下記までご相談ください。

お問い合わせ先

草津市健康増進課

(電話)077-561-2323 (Fax)077-561-2482